

平成 20 年 9 月 2 日

横浜市市会議員各位

「脳卒中から助かる会」

代表 上野正

このところ不安定な天候が続いておりますが、先生にはお元気にて市政にご尽力のことと存じます。

私たちは 8 月中旬に脳血管医療センターのセンター長に横浜市大の山本勇夫元教授が任命されたことを知りましたが、同教授が学位審査に関して金銭を受領し、退職後のため処分は免れた等のことも聞いて驚いております。

センターでは、規律の弛緩から昨年は死亡事故が出るなど、規律もモラルも立て直してゆかねばならぬ時期に、不正が知られた定年者の天下りとあつては、安心安全の医療が実現できるのか。この点を最も心配しております。

また、センターは一時壊滅状態に近かったものが、ようやく医師が定員の 2/3 に戻りましたが、今回のような事で社会的信用を失い、優れた医師を広く集める上で障害になりはしないか？

他に適任者が無かったとも言われておりますが、センターは設備も規模も脳卒中専門病院としては稀なもので、横浜という優れた立地条件もあるわけで、行政の視野があまり狭くなかったかと憂慮されます。

以上のような事から、中田市長に宛てて抗議と質問を提出いたしました。同封いたしますので、御覧いただければ幸いに存じます。

今回のような事態が改善されて、脳血管医療センターが本来の機能を発揮できるよう切望しております。

このため、何卒よろしくご尽力下さいますようお願い申し上げます。